

# と し ょ か ん 宇 治

No. 13

1987年10月1日発行

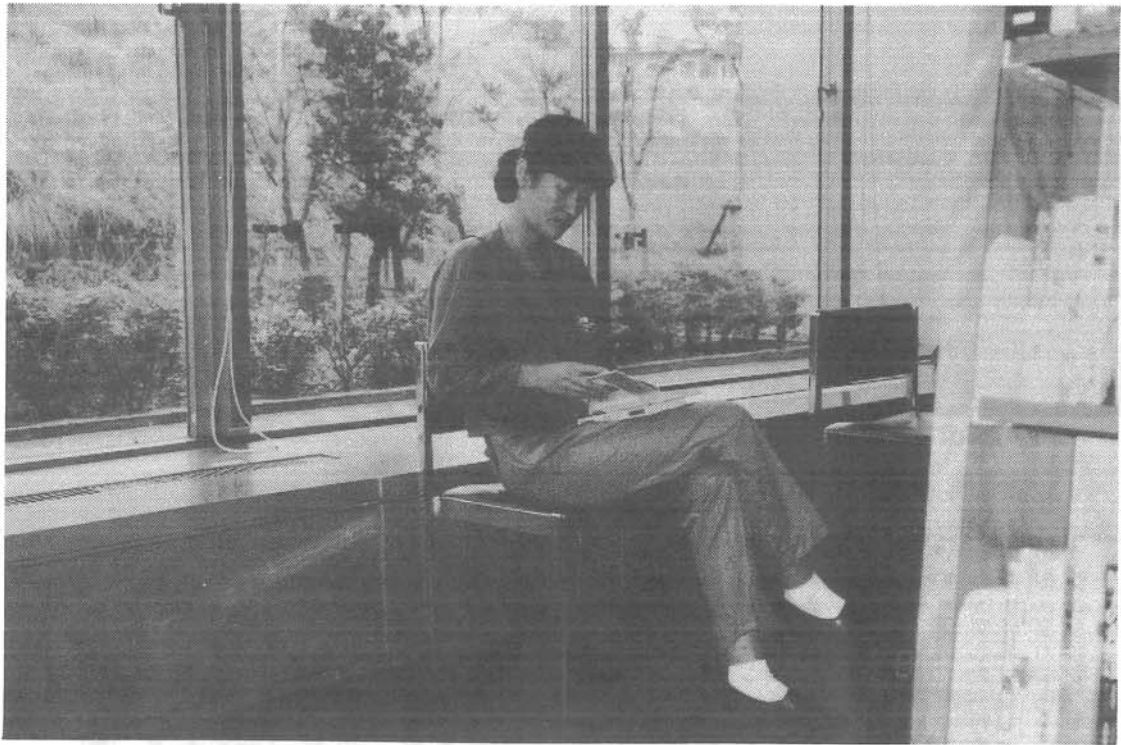
宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

▽611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20) 1511



## 私と読書

宇治市教育委員会参事  
頼 成 綾 子

本は気楽に読むにかぎる、そこに本を読むのしみがある、とかねがね思っている。

仕事にかかわって、資料としての本を必要に駆られて読む、といったことはさて置き、毎日手にする本は、その日の気分で、「小説」であったり、「ノンフィクション」であったり「随筆」であったり、「詩集」であったり……まるで読み散らすという風なのである。

私が読書のたのしみを知り、読書を習慣化することができたのは、小学校六年生の頃であった。当時、私のクラスでは、「読書記録」をつけ、毎日提出するよう指導されていたが、第二次世界大戦末期のことでもあり、身近にあまり本がなかったため、冬休みに友達と京都府立図書館へ通い、火の気のない閲覧室で童話の世界に没入。それは、読書をたのしみというよりも、読書記録を伸ばすということに一生懸命であったように思う。

女学校時代には、友人宅の蔵書に魅せられて或る時期日参、乱読の日々であった。思えば、少女の頃の読書への好奇心は、友人宅のご迷惑を慮るゆとりさえないものであった。「本」が溢れる現在、こんなことも今はなつかしい。

その後、「人生の遍歴は読書の遍歴である」との言葉のとおり、年と共に読書の傾向も方法も、さまざまに変化して現在に至っている。

# 行政資料コーナーを開設

市民への情報提供サービスという図書館本来の機能を高め、また多様化する行政に対する各種の市民要求に資料面から積極的に応えるため、七月十五日から中央図書館参考資料室内に、宇治市が刊行する行政資料を中心とした「行政資料コーナー」を開設しました。

この「コーナー」は、中央図書館側と行政側（窓口は企画管理部総務課）とが、資料収集の範囲・方法から、相互の役割分担の明確化等につき、およそ一ケ年をかけて調査・協議し、開設にこぎつけたものです。今後とも行政側と緊密な連携をとりながら充実にむけ努力してまいります。

## 行政資料コーナーの概要

### 設置目的

宇治市が刊行する行政資料を中心に、国・府・府下市町村等の刊行する行政資料を体系的に収集・整理・保存し、市民に行政情報を提供する。

### 行政資料の定義

国及び地方公共団体等が刊行する資料で、行政の内外を問わず、公表又は公開を目的として作成した資料をいう。

### 特色

(1) 図書館へ資料を送付するシステムが確立しました。  
市の各課が刊行・受入れた資料で送付可能なものは総務課を経由して送付されてきます。

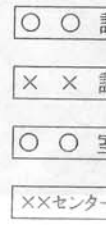
### 7月にオープンした行政資料コーナー



各種の行政資料

中央図書館

企画管理部総務課



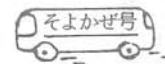
(行政資料の流れ)

(2) 図書館が行政資料に関する総合窓口としての機能を果たします。  
全庁的に行政資料の所在管理をおこなうために「行政資料基本台帳」を作成しています。

### 現状と課題

当「コーナー」での所蔵冊数は宇治市のもの一〇九タイトルをはじめとして、冊数にして約一、二〇〇冊です。今後いかにタイトルの増やし、バックナンバーや欠号をそろえていくかが大きな課題です。また市民の要求にすばやく応えるため、全データのコンピュータ入力等を充分におこなえる体制づくりも必要です。更に、府立総合資料館には充実した「行政資料コーナー」がありますが、そことの相互協力関係を確立していくことも今後の課題といえます。

## はしれ! そよかせ号



こんにちは、毎日、本をいっぱい積んで元気にみなさんの街を巡回しているそよかせ号からのおたよりをお

届けします。今年も、夏休みの間、子どもたちで車内は大にぎわいでした。利用者の方も職員も汗だくで、熱気がムンムン、炎天下の車外の方が涼しく感じられる日もありました。今、季節は秋、夜も長くなりました。ご家族でたっぷり本とおつきあいをしてみませんか。一世帯二〇冊まで借りられます。

ある日の車内風景。「こんなに読めるやろか」と高く積み上げた本を心配げにカウンターへ。時には、「今日はもう一つやったわ」の声も……。この本、おもしろかったわ。「へえ、そんなら私も借りようかな。本と人、人と人の楽しい出会い。あなたも、ぜひどうぞ。」



# 図書館へようこそ

## 利用者にインタビュー

### 第2回

泉田章一さん



<泉田章一さん(左)と環さん>

「図書館のご利用は……。週一回は借りにきます。予約

「家族五人の中でも環ちゃん(小六)の読む本が一番多い」とおっしゃる泉田さん。「図書館へようこそ」今回は宇治琵琶にお住まいの泉田章一さん(四十七歳・会社員)におたずねしました。

・リクエストもよくさせてもらっています。

読まれる本はどのようにして選んでおられるのですか。

主に、新聞に掲載される書評や本の広告などで選んでいます。この子(環さん)は、直接図書館で本を見て選び、借りた本に載っているそのシリーズの書名などを参考にして選んでいるようです。

泉田さんにとって図書館とはどんな存在ですか。

よく利用しており、生活の一部という感じがします。

利用されていて、お気づきになられたことがあればどうぞ。

本の分類は難しく、どこにどんな本があるのか、わかりやすく表示してもらえるとありがたいのですが……。それと、本の取扱いのことで、借りた本に落書きがしてあったりすることがありますが、これは利用者のマナーの問題ですね。

他に、図書館に対してご要望をお聞かせください。

特にあげれば、リクエストした本をできるだけ早く借りられるようにしてほしいことと、事情が許せば本の数をもっとふやしてほしいことです。

どうもお忙しい中、ありがとうございました。

## おかあさんマンガを読んでいますか

～マンガを中心として子供の本を考える～

子供たちの間で、マンガは依然として根強い人気を持っています。書店の店頭には、マンガ週刊誌をはじめコミックなど所狭しと並んでおり、最近ではビジネス書にもマンガが仲間入りするなど、大人の世代も含めて出版文化の中でマンガは無視できない位置を占めているのではないのでしょうか。

宇治市中央図書館では、第四十一次読書週間を記念して「おかあさんマンガを読んでいますか」と題し、マンガを中心として子供の本を考える講演会を開催します。マンガと児童文学の比較などについて、帝国女子大学助教授・竹内オサムさんに講演していただきます。「竹内先生の著作は「小川末明・浜田広介」(共著)や「手塚治虫の研究」等の論文のほか、「児童マンガ研究」の雑誌を発行されています。」

マンガに興味をお持ちの方、子供とのかかわりの中でマンガを考えてみたい方など、お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

読書週間  
記念講演会

\*とき 十月二十五日(日)  
午後二時より

\*ところ 中央公民館展示集会室

\*入場には整理券が必要です。中央図書館、各地区公民館でお渡しします。



昭和六十二年度からの宇治市図書館協議会の委員が決まりましたので、お知らせします。(敬称略)

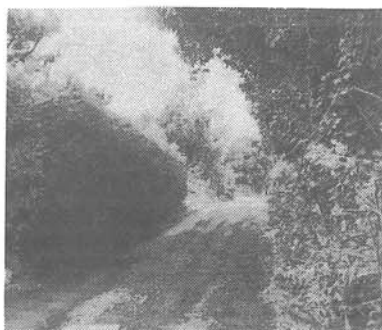
- ・一号委員 林 一文(会長)
- ・二号委員 細野恵子、藤林博憲
- ・三号委員 前川桂子
- ・四号委員 池本 甫
- ・五号委員 永野玲子、青木次彦

郷土のはなし

「頼政道」と宇治

宇治といえば宇治川を想い、山紫水明の景観が目にかかびます。また宇治の地は古くから、近江と奈良、京と奈良を結ぶ交通の要衝として栄え、宇治川をはさんで幾たびも戦乱がくり返されてきました。

治承四年(一一八〇)五月、高倉宮以仁王は源頼政のすすめに応じて、秘かに平氏討伐の令旨(命令)を諸国に発しました。しかし平氏の知るところとなり、園城寺(三井寺)に逃れましたが、頼りにしていた延暦寺や興福寺の援兵が来ないため、頼政らと園城寺を捨て南都に向うことになりました。



〈木幡地域に残る頼政道の一部〉

す。東海道を下って山科から追分に出て、小野・醍醐まで進んだ一行はここで本街道を避け、山中の間道を通って日野法界寺・木幡・五ヶ庄・大鳳寺を経て宇治橋を渡り平等院に入りました。一行が平氏の追手をのがれるために通ったこの山麓つたいの古道は今でも『頼政道』と呼ばれ知られています。宇治川での合戦で源頼政は討たれ、逃げた以仁王も、今の相楽郡山城町で討たれたといわれています。かくて掎兵は失敗におわりましたが、王の令旨を奉じた源頼朝や木曾義仲らの源氏の蜂起をうながすことになりました。信濃に挙兵した義仲は、北陸道を勝ち進み、平氏を京から追い落とします。しかし義仲もやがて、鎌倉の頼朝が派遣した義経によって京を迫られることとなります。寿永三年(一一八四)宇治川の西岸に到着した義経軍。雪どけ水で水かさが増す中、梶原景季と佐々木高綱の「宇治川の先陣争い」は有名どころです。この戦で勝った義経も、やがて義仲と同じ道をたどることになります。宇治をも舞台にくり返された源平の争いは、いろいろな足跡を残しました。「頼政道」もその一つといえるでしょう。

編集後記

◆ 灯火親しむ候。本との話らいが心にしみ入る季節です。読書プランはもうお立てになりましたか。図書館は、あなたのご利

◆ 用をお待ちしています。今回の「郷土のはなし」は「頼政道」をとり上げました。源頼政という名前は宇治とは深いつながりがあります。さわやかな秋、ロマンただよう古道を訪ねてみてはいかがでしょう。

本をかりるには

一 利用案内一

- 中央図書館  
市内にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方ならどなたでもかりられます。
- ・貸出は、1人3冊、3週間です。
  - ・開館時間は、9時～17時です。
  - ・休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

- 移動図書館  
月に市内24カ所を巡回しています。
- ・貸出は、1世帯に20冊までです。
  - ・次回巡回日に返却して下さい。
  - ・日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかせ号」巡回日程をご覧ください。

